

1 目的

福山駅前広場の各機能の配置案（以下「素案」という）について、市民や事業者から意見を広く聴くことを目的に開催しました。

2 内容

（1）ガイダンス

素案の検討経過や内容について市から説明を行いました。素案の内容をイメージしやすくするために作成したイラストを示す事で、各機能の配置や広場空間の使い方、広場と周辺とのつながりのイメージを伝えました。

（2）パネルディスカッション

素案の検討に関わった福山駅前広場協議会分科会の構成員をパネリストにお招きし、会場やオンラインで参加された方々からのご意見を交えながら意見交換を行いました。

ファシリテーター（福山駅前広場協議会座長）

- ・清水 義次さん 株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役

パネリスト（福山駅前広場協議会委員）

- ・渡邊 一成さん 公立大学法人福山市立大学都市経営学部教授
- ・佐々木 伸子さん 福山大学工学部建築学科准教授
- ・西村 浩さん 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役
- ・西日本旅客鉄道（株）
- ・（公社）広島県バス協会
- ・福山市バス交通利用促進協議会
- ・広島県東部観光推進協議会
- ・福山市建設局 福山駅周辺再生推進部長



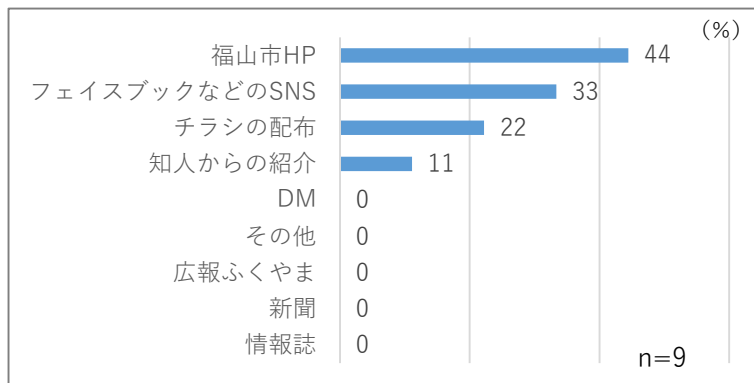
3 パネルディスカッションの内容（一部抜粋）

- 素案の内容では広場内の道路が東西の空間を分断していると思います。人が自由に東西に行き来できるような配置とすべきだと思います。広場を一体の空間にするよう、配置を見直した方がいいと思います。
- ☞ 駅前広場は都市の広場機能だけでなく、交通結節機能の確保や遺構の問題など、様々な問題をセットで解いていく必要がある。様々な意見を含めながら、どのように空間を作っていくのかという議論を引き続き行っていけば良いだろう。
- 駅前広場内にバス乗場がありますが、そこに必要なのでしょうか。伏見町の北側に集中させれば、もっと快適な広場になると思います。
- ☞ 一次交通や二次交通が駅前からすぐに見える場所にあることによって、利用者に安心感を与えることができる。駅前から離れてしまうと、利用者は分かりづらく、利用しづらくなってしまいうため、駅前の近くにある方が良いだろう。
- 人と車を分離する意味で駅前広場は人が集うところ、隣接する伏見町などに広島のごごうのようなバスセンターを考えて、人と車を分離することを考えてはどうだろうか。費用はかかるが未来のためには良いのでは。駅とバスセンターを可動式の歩道で繋ぎ、交通弱者にも配慮する。
- ☞ 路線バスは、現在、広場の南から入って南から出るというルートを中心に運行されている。バスのルートを迂回をさせると利用者からは不満が出るため、バスのサービスについて議論する必要がある。バスセンターを伏見町に考えるといっても、そこは私有地なので簡単には言えないし、周辺の開発とセットで考えていかなければならないので、現時点ではバスセンターにするという判断は難しいだろう。今後、こうした提案をもとに、民間の不動産オーナーや地域の方々、バス事業者と具体的に方策を検討していく必要があるだろう。
- 自動車から人が歩く時代へというならばもっと先にやらなければならないことがあると思います。福山がどれだけ自動車社会か理解されていないのですか？
- ☞ 交通政策の一番の課題は渋滞。これまでは整備による対策を行ってきたが、最近は整備だけでなく車の使い方を変えることによって渋滞を減らす交通政策も出てきている。今後は交通のあり方を考える必要があるだろうし、自家用車の利用を前提にする考え方を変えていく時代に来ている。例えば、公共交通を無料にする社会実験をしてみても、みんなで公共交通を使ってみるなど、駅前広場の検討により、皆さんが交通行動を考えるきっかけになるとよいだろう。
- ☞ 住みなれた場所に住み続けるということは本当に大事な事ではあるけれど、将来、まちの郊外で車が無いと生活できなくなる地域が間違いなく出てくる。そうした時にまちなかに移り住み、車が無くても歩いて暮らせるようなまちづくりも必要になる。こうした変化は現実に起きてくるため、車が無くても生活できるまちづくりを視野に入れ、そのための中心が駅前広場となるという考え方を理解していただく時代になってきている。
- ☞ 将来的には車を減らしていこうという流れがあるが、現状、車社会に対応していかなければならない。中心に人がゆっくり暮らせるような軸を作りつつ、その両サイドから車でアプローチして、車ですぐ裏まで来て、車が止められるという状況を整備しなければならないと思う。現在の都市の問題は歩行者や車両が混在して、全てが同じ道を利用しているということだ。歩行者のための道と車両のための道を分離し、周辺の開発を含めて、人のための空間を作っていくことが、今回の検討の中で大きなテーマになるだろう。駐車場については、点在している駐車場を集約して、目的地に近くて、分かりやすく、止めやすい駐車場が整備されると良いだろう。地域の皆さんも協力してやっていくことが、成否の一番の鍵となるだろう。

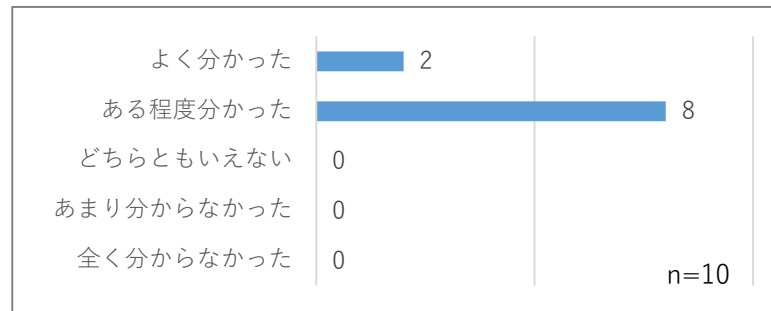
- 駅周辺には中央公園、福山城という大きな公園があるのに、駅前にまで広場ができて人は周遊するのでしょうか？せっかく中央公園が活用され始め、今後南北に人が動くかもという時に、駅前にまで広場ができてどう共存させるのでしょうか？
 - ☞ 今後、公園や道路などの公共空間を使っていくことがまちづくりの大事な方向性になってきている。福山の場合、中央公園にはレストランが出来て、だんだんと魅力的な場所になってきている。一方で駅前広場は、中央公園とは違う役割があり、様々な人が集まり、福山市の暮らしや産業などの情報が発信される大事な場所となるのではないかな。広場が担う役割の分担や運営の仕方など、地域のみなさんと一緒に話をしながら、考えていく必要があるだろう。
- 示された素案はこれから変更していくと言われてましたがどのように意見をまとめて反映させていくのでしょうか？
 - ☞ まずは、広場をこんな感じで使いたいというようなアイデアをどんどん寄せていただきたい。そうした意見をもとにどのような空間にするかを考えていく。ただし、あれも欲しいこれも欲しいというように、全てが実現するかということ、そうはいかないこともあるだろう。まずは、アイデアを出していただき、それを皆さんと共有しながら、作りあげていくプロセスが必要だ。
- 駅前広場及び駅前周辺をウォークアブルな空間にするために、自転車通路と歩行者通路の分離を徹底することが必要不可欠なのではないかと考えます。現時点の通路分離では歩行者の安全性確保が不十分なのではないかと思われます。
 - ☞ 現在の駅前広場は歩行者と自転車が混在しているため、今後見直す必要があるだろう。自転車と歩行者の分離をどうするのか、どのようにコントロールするのかという視点はとても大事だ。
- 素案のイメージでは広場は芝生のように見受けられました。見栄えの良さの一方で、イベントなどでの使い勝手や維持管理、多くの人が歩くハードな使われ方に耐えうるのかなど、課題も多いのではと考えます。実際の使われ方までイメージした計画をお願いしたいです。
 - ☞ どのようなハード整備をするかは運営の仕方に関わってくる話だと思う。芝生は維持管理が大変だが、少し芝生が欲しいというのであれば、どのように維持管理しながら活用していくのかも検討しなければならない。つまり、デザインだけで考えるのではなく、運営をする視点を持って、ハード整備のあり方を考えていくことが大事だろう。その際には、広場空間を使いたいという民間の人達の意見を聞きながら議論をしていくプロセスがふさわしいだろう。
- 初夏や秋にはバラの広場、お盆には二上り踊りが出来る広場、冬にはよその街に負けない規模のイルミネーション広場にするのは如何でしょう？福山駅前が、デートコースになればいいと思います。
 - ☞ 赤ちゃんから高齢者まで多様性のある広場にしていきたい。公共交通の利用者や障がい者の方々などの意見を踏まえると、駅周辺には必ず公共交通の交通結節機能も必要だと思う。限られた広さの駅前広場を上手に使うためには、ゾーニングするような考え方も、空間の共有や機能の連携など、色々な汎用性を持った考え方が大事になるだろう。

4 アンケート結果

Q1 どこで本シンポジウムを知りましたか。(複数回答)

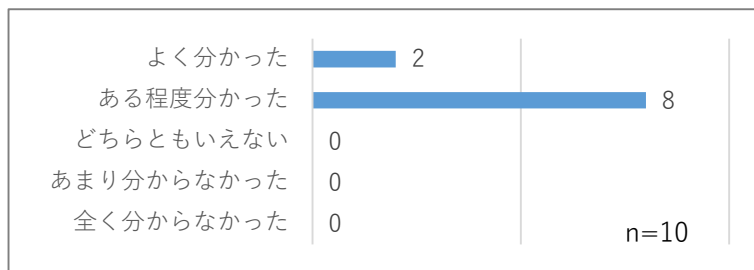


Q2 福山駅前広場に関する検討経過*について



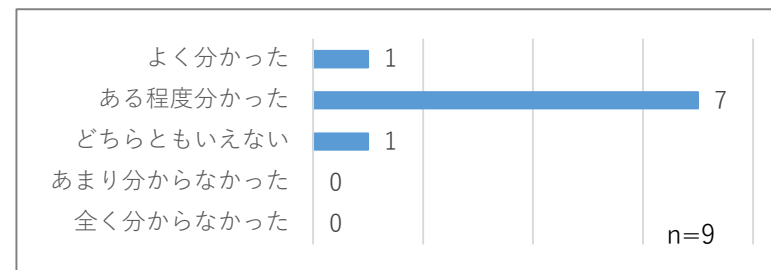
※ 福山市と備後圏域が持続的に発展していくために、福山駅周辺を「居心地が良く歩きたくなる」ような人中心の空間(ウォーカブルな空間)に変えていく取組を行っており、その取組の一環で駅前広場の検討を進めている。素案は広く皆様のご意見を聴き取るために、協議会や分科会、シンポジウムの意見やアンケート調査結果を踏まえながら、作成したものであり、今後、修正を加えながら基本方針として取りまとめることとしている。

Q3 福山駅前広場の各機能の配置計画案(素案)*について



※ 東西に長いJR福山駅の特性を生かしつつ、駅の南北の広場を一体的に検討することで、交通結節機能を十分に発揮させる。駅の南北間の交流軸の創出により、駅の南北の空間を一体的に、歴史や自然があふれる備後圏域の玄関口にふさわしいウォーカブルな空間へと転換する。

Q4 未来の福山駅前広場のイメージ*について



※ イラストに示している「駅周辺の施設配置のイメージ」や「空間の使い方のイメージ」、「駅前広場と駅周辺とのつながりのイメージ」のこと

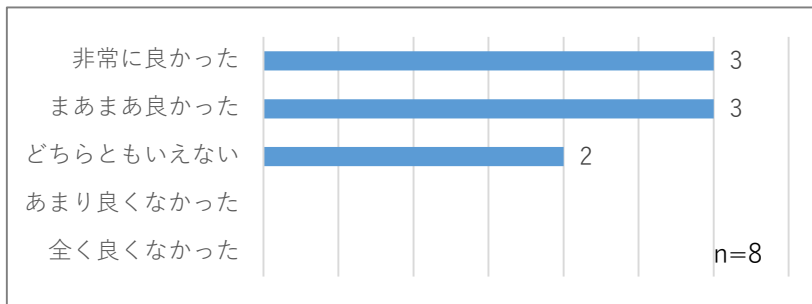
(Q3) 初めて知ったことや興味を持ったこと、感じたことなど(自由記入)

- 素案では東西分断される気がします。信号が不要ない駅前になると良いと思います。
- 将来は移り変わるということをととても意識されていた。
- バスの利用場所や方法について今とは異なりバージョンアップしている。計画案を見て、出来上がった新福山駅を早く見たいと思いました。

(Q4) 興味をもったことや感じたこと、公共空間をどのように使いたいかなど(自由記入)

- 福山城と駅前をトータル的に考えていく必要がある。三之丸町の道をどうするか等も考えていく必要がある。
- これが本当に実現したらとてもワクワクする空間になると思う。
- 学生などの若年層の人も交通機関としてだけでなく、憩いの場として利用できたら良いなと思いました。
- どのように過ごすというよりは、足を踏み入れた瞬間に気持ちが少し上がるような場であってほしいです。

Q5 今回の「slido」を活用した意見や質問の聴き方についてどう感じましたか？



(Q5) ご意見やご提案など（自由記入）

- 自分の意見がリアルタイムで反映されるのはうれしい。

Q6 本シンポジウムに参加して、印象に残ったことや感じたことは何ですか。（自由記入）

- 福山駅を利用する人々の不便さを解消する、福山を訪れる人達が驚くような広場、年齢や時間・季節を考慮し、全てを満たせる広場、だったら良いですね。頑張りましょう。
- バス事業者の事を考えられるのであれば、駅から遠いところに観光地を作りバスと提携させていけばよいのでは。
- もっと多くの方がシンポジウムに参加できる告知が必要だと思います。知らない人が多い。福山を愛する人が色々な意見を言える場が必要。福山の郊外の方が駅に行きたいと思える空間、都市づくりが大切だと思います。
- 素案のイメージが公開されることで市民のめざすビジョンが明確になったように思います。
- 市民の意見をちゃんと聞いてくれていると感じた。
- 福山駅が行いたいことを集められる点も良いと感じました。
- 運用とセットで考えるのはまったく同意です。広場でも公園でもできるだけ天然芝の空間が増えれば良いと私も考えますが、安易な芝生化は疑問です。どのような場でも運用体制づくりやノウハウの蓄積などが大切だと思います。良い空間をつくる要素は多様であると思いますが、一つ他都市の事例で良いと思うのは金沢駅の鼓門です。巨大で優れたデザインのシンボリックなものが愛着を強める効果があるのではないかと思います。そこから福山城を展望できればなお良いのですが。

5 今後について

本シンポジウムなどにおける市民のみなさまからのご意見やご質問については、今後の福山駅前デザイン会議や福山駅前広場協議会の検討に加えていきます。

今後も引き続き、福山駅前広場デザインシンポジウムのような場を設けることによって、駅前広場の検討の経過を発信するとともに、多くの方々の意見を聴きながら、市民のみなさまが誇りに思えるような駅前広場を市民のみなさまと一緒に作り上げていきます。